

# 北大薬学部同窓会誌芳香全号目次(1)

第1号(1956年7月) -

第25号(1969年5月)

年2回発行

<お願い>

- 1) どんな細かい間違いでも結構ですので見つけたら知らせてください。
- 2) ペンネーム(赤字)に対する本名と卒業期がお分かりの方(本人でも)は、それらに本名を付けて公表しても良いかを添えて知らせてください。

連絡先:[matuda@pharm.hokudai.ac.jp](mailto:matuda@pharm.hokudai.ac.jp)

## 芳香全巻目次1 (1号・1956—25号・1969)年2回発行

### <第1号(1956・7)>

創刊の辞—平山忠充,1  
発刊に寄せて—赤木満洲男  
近頃感じておる事—三橋博

#### <文芸・その他>

マリアヌス(詩)—松川和子  
蟻(詩)—竹雄  
朴の花—平山忠充,1  
無題—木村道也  
所感—上田亨  
北海道—松原信義,1  
和歌・心景—楽第生  
知床半島紀行—新海弘之,1  
のり巻—美口智明,1  
“ゲルピン”について—渡辺恭一,1

直線曲線(一)—逸見日出雄,1  
間違えられた話—羽賀正信,1  
忘れ得ぬ事ども—作者不明  
筆のすさびに(三毛猫走馬燈)—金島弘恭,1  
直線曲線(二)—逸見日出雄,1  
友へ(詩)—竹雄  
小自叙伝—細田順一,1  
趣味雑感—楽學游子  
O君へ—竹森義男,1

#### <サークル活動報告>

ワンダーフォーゲル—新海弘之,1  
歌う会—木村哲雄,1  
映画研究会—金島弘恭,1  
カメラサークル—美口智明,1

野球・ソフトボールサークル—稼農明德,1  
美術サークル—高橋良明,1  
囲碁・将棋サークル—長谷川功,1

#### <学芸欄>

生命について—村上俊孝,1  
雪原—葯水

一寸一言—村上一良,1  
札幌・喫茶店めぐり—作者不明

#### <報告欄>

執行委員会中間報告—村上一良,1、講座の構成、学友会報告  
池原先生のお便り、水野先生の病床を訪ねて

編集後記(“雑誌名「芳香(かおり)の誕生”を含む)  
編集委員・具体名記載なし、平山忠充(編集責任者)、木村哲雄(印刷者)

### <第2号(1956・12)>

<特集・薬学の将来> 赤木満洲男、米光幸、稼農明德,1、松原信義,1  
バークレー雑記—伴義雄  
友情—木村道也

<座談会—この一年間を省みて>上田亨、藤間貞彦、大塚栄子,1、笠谷哲市,1、竹森(西)郁子,1、美口智明,1、村上俊孝,1、村上一良,1

<学芸欄>

弾丸道路—成田守康(成田九州男)  
薬学75年史—三橋博  
制癌剤の話—南原利夫

化学外観(一)—清水譲,1、  
松井さん—池田(松田)瓊,1

<詩・短歌・心景>

その後—かさやてついち,1  
すいせんのつぶやき—清水譲,1  
第七・十字街にて—葛秋彦

雪雪—金島弘恭,1、  
短歌—清水譲,1

<創作>

坑—木下与四郎  
ある道程—森山よう

新伊勢物語—関小納言(関哲夫,1)

<随筆・その他>

笑いと自分—M生  
失答—石巻恒夫,2  
女子学生—大塚栄子,1  
人間的であること—竹森義男,1  
学問以前のこと—永井右近

ある朝—歌之好男  
近眠—N記  
本年のスポーツを省みて—金島弘恭,1  
独言—歌之好男

<報告欄>

教室めぐり・生薬学教室、分析化学教室  
アンケート、学友会報告、第二期委員会報告、薬学文庫について、生物化学ゼミナー(仮称)、読書サークル

編集後記

編集委員・熊谷治、堀川純子、松本孝子、宮島俊輔、石井正子、田代初恵、平山忠充、村上一良  
長谷川功(編集責任者)

<第3号(1957・7)>

<特集・就職について>林平三郎、西村義亮  
断想—安倍三史  
我が学生時代—伴義雄

<座談会—見学旅行を終えて>伴義雄、米光宰、大鹿(小林)道子,1、高橋良明,1、中川昌子,1、松原信義,1、石巻恒夫,2、足立(木村)康子,2、村上一良,1

<旅行記>我が旅行記—新海弘之,1、しずおか—鈴木(相馬)悦子,1

<学芸欄>赤外入門—金岡祐一、化学外観(二)—清水譲,1

<教室めぐり>衛生化学教室、薬品製造学教室

<創作>

時は流れ行く - 栄一

落是春秋 - 手島節三

リュウちゃん - M・S

<詩・短歌・随筆>

溶岩 - かさや・てついち,1

遠い人 - 金島弘恭,1

作図問題・祝婚歌 - 葛秋彦

千瓢 - 田辺忠行,2

二枚めの年賀状 - 江口静子

<報告欄>

レクリエーション系、薬学文庫系、サークル活動系（ワンダーフォーゲル、薬学科歌う会、第三回職員学生懇談会について、北大学友会発足す）

編集後記

編集委員・平田芳朗、宮島俊輔、石川文義、堀川純子、松田瓊、村上俊孝、平山忠充、稼農明德(編集責任者)

## <第4号 (1957・12)>

卒業生諸子に寄せて - 安保壽、赤木満洲雄

<特集・就職について>

本年度就職内定経過について - 伴義雄

女子と就職について - A生

就職体験記 - 村上俊孝,1、岡田雅彦,1、

座談会 - 就職について - 笠谷哲市,1、稼農明德,1、藤間(菊池)登代子,1、須磨幸男,1、鈴木(相馬)

悦子,1、平山(田代)初恵,1、長谷川功,1、逸見日出雄,1、松原信義,1、村上俊孝,1、平田芳朗,2、

上田(堀川)純子,2、中澤信彦,2

大学院について - 木村道也

米大陸横断五千哩の記 - 池原森男

<学芸欄>

ISECをかえりみて - 金子光

核酸化学に於けるトッド教授の業績 - 上田亨

<詩>

事柄とそのわけ・その事を - 菅原幸雄,2

葉 - 秩父圭

<創作>

外国人 - 桶谷米四郎

ある往復 - 菅原幸雄,2

「童話」赤いビー玉 - 白石(笠原)由美子,3

無題 - 荒川京

マドルム - 江口静子

或る学生 - 宮島俊輔,2

<随筆>

演劇終わって - 武田哲弥,2

小林毅

原水爆禁止 - 米光宰

一年経って - 西田聖,2

薬学科に移行して - 山岸(浦川)多賀子,3

学生生活を顧みて - 羽賀正信,1、木村哲雄,1

流れ移ろう中の或一つの点－成田守康(成田九州男)

新鮮な感覚を持ちたい－清水譲,1  
一寸一言－ライカ嬢

<報告欄>委員長報告、学友会報告、歌う会、ワンダーフォーゲル、ソフトボールサークル、音楽鑑賞サークル

編集後記

編集委員・笠原由美子、川原幸則、前野俊男、矢野宗次郎、陳美年、山田幸子、津田哲司、熊谷治、石川文義、中沢信彦(編集責任者)

### <第5号(1958・7)>

<特集－薬学教育の諸問題>

薬学教育の現状と将来－赤木満洲雄

薬学教育への私見－石川文義,2

僕はこう考える－上田亨

アンケートの結果について(薬学教育

薬学教育のあり方について－木村哲雄,1

の諸問題)

座談会・我々の自治会は如何にあるべきか－伊藤哲行,2、山崎(渡辺)桂子,3、津田哲司,2、上田(堀川)純子,2、永田(中村)稲子,3、坂東洋右,2、宮脇裕幸,2、金井良雄,3、平田芳朗,2

<学芸欄>

溶かすこと－関口慶二

神経分泌の話－小林凡郎

<旅行記>

長崎の夜－熊谷治,2

わが旅の記－上田(堀川)純子,2

<詩・随筆・その他>

短歌－三上ひさし

日高の山－菅原一布,3

海軍薬剤官(一)－岩本多喜男

うたの園あるき－江口静子

詩・遮断機－加波清子

衣裳についての考察－成田哲弥

野菊－加波清子

童話－にゃんにゃん物語－秩父圭

苦しい夜に－小西正隆,3

断層－見上登,2

苦悩にのたうつ－小西正隆,3

道程－桶谷米四郎

回想－永井右近

老樹－宮島俊輔,2

ムダイ－八田利也

一寸一言(一)(二)－ライカ嬢

紫陽花によせて－尚樹

<教室めぐり>薬化学、薬剤学、薬効学教室

<報告欄>執行委員会、サークル委員会、薬学科コース、音鑑サークル

編集後記

編集委員・前野俊男、池田一芳、川原幸則、須賀哲弥、伊藤(阿部)雅枝、鎌塚裕子、平田芳朗(編集責任者)

<第6号(1959・3)>この号から活字印刷

断想・卒業生におくる－安倍三史

<特集・これからの薬学のために>

これからの薬学のために－上田亨

薬学科移転のあらまし－三橋博

薬学のあり方－水野義久

座談会・学生生活における当面の問題－熊谷治,2、安藤弘一,4、佐々木(表)允子,4、池田一芳,3、白石(笠原)由美子,3、足立(木村)康子,2、津田哲司,2、前野倭男,3、押野守,1、木村哲雄,1、小尾陸、永井右近

アンケート集計の結果について

今年の就職をふり返って－熊谷治,2、A君への手紙－熊岡熙

<薬学科教室めぐり>薬品製造学、薬効学、生薬学、薬品分析学、薬剤学、衛生化学、薬化学教室

<学芸欄>農薬談義－桑田五郎

<随筆・その他>

六月の芦別記行－菅原一布,3

草花を育てるころ－尚樹

第三種の人々－平尾健一,4

檻の中のホモ・サピエンス－N・K

知床半島公演旅行－白石(笠原)由美子,3

群集の中の一人－武田哲弥,2

山日記から－長縄博,2

ある感想－三年目－学生

葉と幹の会話－千徳光彦,4

ある現実－池田(藤枝)聡子,4

文明人のたわごと－三年目学生

メンタル・スケッチ No.9(詩)－葛秋彦

プレリュード(詩)－葛秋彦

創成神話(詩)－葛秋彦

ノートの端より－M・W

<創作>

酒田君の反省録・大トラ行状記－桶谷米四郎

或る次元のひとへ－加波きよ

CL・九三－池田一芳

のんべえのたわごと－前野倭男,3

とちぼろめしをくったころ－成田守康(成田九州男)

編集後記

編集委員・小林大二、小林良弘、斉藤能久、金井良雄、坂口礼司、須賀哲弥、中村稲子、伊藤哲行、大津雅彦、木村康子、田辺忠行

<第7号(1959)>

巻頭言・境界領域の開拓－金井良雄,3

<特集・現代学生の姿と考え方>学生は如何に考え、如何に行動しているか、特に当薬学生に於いてはどうか—、経済問題について・対人関係について・学生運動について、就職について—編集部、「学生時代」—水野義久

<ルポルタージュ>今日は！他学科訪問記-農芸化学科、化学科、畜産学科、応用化学科  
<学芸欄>

クマの肝と脂肪—犬飼哲夫（北大農学部動物学教室）      ニペソツ・ワンダーリング—内田一也,4  
ひとりごと—黒田浩二,4      へんてこな話—**みる**  
山日記—青木亮一,3      保健と必須アミノ酸—菅原幸雄,2

<随筆>

呼名—桶谷米四郎      或る母の願い—**I・Q**  
表紙の言葉—成田守康(成田九州男)      此頃考えたこと—池原森男  
S君の日記より—彦坂忠俊,4

<創作および詩>

海軍薬剤官(二)—岩本多喜男      川—**島津杏子**  
桜草—千徳光彦,4      小林三季の思い出—大石武  
トロウ・ナンセンス—又は感傷家たち—亀田      針状結晶—**倭文子**  
(伊在井)康子,4      非詩—**岩根雅独**  
悪質な安らぎ—四年目学生

編集後期

編集委員・具体名記載なし

<第8号(1960・3)>

巻頭言・自然科学と人文科学

<特集・北大薬学科の歴史への考察>北大薬学科設立の事情、卒業生の生活状況、現状の検討と明日への希望—編集部

有用植物研究会について—三橋博、アメリカ便り—金岡祐一、金岡助教授について—一職員

<学芸欄>

コレステロール定量の思い出—安田守雄      大学万才—宮原将平（理学部物理学科教授）

<あ・ら・か・る・と(去りゆく日々は文学である)四年生>

永田(中村)稲子,3、**小原さと子**、山崎皓弘,3、坂口礼司,3、川原幸則,3、池田一芳,3、安達守,3、  
稲垣(宮田)万里子,3、安田(西条)裕子,3、白石(笠原)由美子,3、菅原一布,3

<他大学薬学部の紹介(編集部)>金沢大学、東北大学、大阪大学、東京大学、千葉大学

<今年度の就職状況について—編集部>

<書評・その他>

Great Experiments in Biology(丸善アジア版)

－清水譲,1

催眠術寸感－成田守康(成田九州男)

たわごと－黄嘴子

Quis me Tiberabit? (誰が我を解放するや?)

－渡辺恭一,1

<創作と詩>

海軍薬剤官(続)－岩本多喜男

洗心橋－桶谷米四郎

母の死－岡志朗

平和と自由と幸福と(詩)－小山田順

従兄－沢田珠子

みどりの野うさぎ－柴田幸子,5

私の四季－上田亨

新春考－永井右近

つき－須賀哲弥,3

愛しき恋人に(詩)－小山田順

続・トロワ・ナンセンス－亀田(伊在井)康子,4

山－桜井謙介,5

編集後記

編集委員・川原紀夫、柴田幸子、吉沢逸雄、安藤弘一、黒田浩二、谷達子、安達守、川原幸則、宮田万里子、山崎皓弘、高木秀実(編集責任者)

## <第9号(1960・9)>

巻頭言・歴史にそして政治に関心を

<特集・北大薬学科の現況と将来の目的>

衛生化学教室－赤木満洲雄、薬効学教室－岩本多喜男、薬化学教室－池原森男、薬剤学教室－林平三郎、薬品製造学教室－伴義雄、生薬学教室－三橋博、薬品分析学教室－木村道也

ジスポーザー－小幡弥太郎、欧米薬業視察談－秋山康之進、分子生物学誕生について－金子光

<随筆>

インファンシー－水谷(中川)由紀子,5

秋から冬へ・ロマンチストの日記－中村晃忠,5

郷愁－伊藤憲夫,5

大学をエンジョイする－青雲志郎

国民政治運動と民主主義－伊藤圭二

同窓会会期(東京・昭和35年4月3日)

デモ雑感－苦言提児

交友関係というもの－木村哲雄,1

デモの反省－渡辺恭一,1

U-2 雑感－須崎茂雄,5

北陸温泉郷－福村繁一,5

<新刊紹介>わたしたちに被いかぶさっている怪物の分析—平凡社刊「我ら日本人」－成田守康(成田九州男)

<創作>

少年よ!－桜井謙介,5

エイプリル・フルー－亀田(伊在井)康子,4

穴－千徳光彦,4

旅立ち－島杏子

にっぽん漫遊記(一)甦ったミイラの巻－吉沢逸雄,5

編集後記

編集委員・稲村繁一、松山智郁子、吉沢逸雄、柴田幸子、多田宏、佐野朝子、佐々木希吉(編集責任者)



## <第10号 (1961・2)>

巻頭言“芳香”十号発刊に際して

<特集・北大薬学科に於ける諸問題の解明と検討—編集部>

1:「薬学科の将来」についての検討、2:薬学の教育の諸問題、アンケートの結果、3:就職問題、4:学生問題

座談会・就職問題を中心として—安藤弘一,4、齊藤(石見)静江,4、小笠原利近,4、佐々木(表)允子,4、亀田征一,4、小林良弘,4、多田宏,4、彦坂忠俊,4、平尾健一,4、池田(藤枝)聡子,4、伊藤恵夫,5、小田修,5、桶直義,5、瓦木威久,5、柴田幸子,5、須崎茂男,5、山次(高橋)良子,5、高村功,5、竹本(松山)智郁子,5、水谷(中川)由紀子,5

薬学に進学して—実吉峯郎,6

<あ・ら・か・る・と(去りゆく日々は文学である)四年生>

安藤弘一,4、池田(藤枝)聡子,4、小林良弘,4、佐々木希吉,4、大畑昌三,4、中川(村山)寛子,4、野村(谷)達子,4、小島俊夫,4、堀内(井上)うた子,4、佐々木(表)允子,4、内田一也,4、多田宏,4、平尾健一,4、工藤徹,4、石川(佐藤)雅子,4、西岡史郎,4、齊藤(石見)静江,4、高木秀實,4、小林(渡辺)美佐子,4、高橋泰,4、千徳光彦,4、小田稔,4、村松(山田)恵美子,4、T・S、森洋樹,4、黒田浩二,4、渡辺(鈴木)紀代子,4、仁科甫啓,4、柴田和則,4、彦坂忠俊,4、亀田(伊在井)康子,4、亀田征一,4、小笠原利近,4

<報告欄>自治会短信、ワンダーフォーゲル部、「歌う会」に寄せて、紹介「十円会」、医学部自治会連合について

<書簡・随想>

あれから七ヶ月—南原利夫

御無沙汰のお詫びに—水野義久

もの言わぬは腹ふくる業 (各教科に対する感想のまとめ)

随想—K・K

<教授寸評・編集部>伴先生、三橋先生、水野先生、赤木先生、岩本先生、林先生

<創作・その他>

薄野の華-花は根に鳥は故巣にかえるなり-

中野寿雄,5

事故—千徳光彦,4

続・にっぽん漫遊記(二)ミイラ達の手記の巻

—吉沢逸雄,5

めたもるふおうず—いざい・やすこ,4

月がさえたとき—互木威久,5

へそまがり—屁素曲理

怠慢登山記—塘忠夫,5

私のスポーツ—岩本多喜男

土地の印象と食べ物—志摩次郎

VAE・SOLI—渡辺恭一,1

編集後記

編集委員・安藤弘一、伊在井康子、小笠原利近、亀田征一、彦坂忠俊、伊藤恵夫、柴田幸子、中川由紀子、高橋良子、大畑勲雄、堺康子、辻トシ子、古谷悦子、瓦木威久(編集責任者)

## <第11号 (1961・10)>

巻頭言・科学という名のパンドウラ

<特別寄稿>

学会てんまつ記(第14回日本薬学会大会開催):総務委員会ノートより－岩本多喜男

シンポジウム:ステロイドホルモンの合成に関連して－清水譲,1

衛生化学・公衆衛生部会を聞いて－須賀哲弥,3

HIHの研究生活から－金岡祐一

小児マヒ－永井右近

<随想・創作>

黒いキリスト－桜井謙介,5

クルマバサウ－長姫慎一

観摩周－浜佐保

白の誘惑－実吉峯郎,6

しゃものものさし－柴田幸子,5

最低旅行－谷沢和隆,6

忍耐(Resignation)－河村忠男,6

我が故郷は魚の－桜井謙介,5

生命と生活－岩淵功,6

宗教と科学－佐々木(長谷川)洋子,5

趣味－石毛和之,6

嵐の花－長姫慎一

脱線した話－志摩次郎

<同窓生だより>細田順一,1、伊東正弘,1、矢野宗次郎,3、山岸正昭・山岸(浦川)多賀子,3

<報告欄>薬学科学生自治会、医学部連合自治会、薬学コース、十円会

編集後記

編集委員・石毛和之、大畑勲雄、奥田和之、小見邦雄、瓦木威久、近藤昌平、堺康子、高橋良子、辻トシ子、中川由紀子、永沢達一郎、古屋悦子、山崎則子、桜井謙介(編集責任者)

<第12号(1962・3)>

巻頭言・五期卒業生を送る

五期卒業生を送るに当たって－赤木満洲雄

卒業にあたって－山田正幸,5

御卒業おめでとう－森(落合)美和子,6

座談会・今までの薬学を振り返って(赤木満洲雄、木村哲雄,1、渡辺恭一,1、秋山和幸,2、宮脇裕幸,2、山崎晤弘,3、小林良弘,4、仁科甫啓,4、鹿嶋真弘,5、柴田幸子,5、四ツ柳智久,5、石毛和之,6、森(落合)美和子,6、古谷(高野)朋子,7、実吉峯郎,6)

<講座紹介(第五期卒業生から見た生活)>

薬化学教室紹介－伊藤憲夫,5、衛生への招待－福村繁一,5、ほくだいやくざい－四ツ柳智久,5、

薬造－鹿嶋真弘,5、生薬学教室－桜井謙介,5、薬効草子－桶見幸洋納言、分析教室雑感－瓦木威久,5

<見学旅行に寄せて－編集部>

見学について－伴義雄

見学旅行に寄せて－藤森観之助,6

<あ・ら・か・る・と(四年生)>

伊藤憲夫,5、伊藤俊彦,5、千葉(井上)蘭子,5、小見邦雄,5、小田修,5、桶直義,5、瓦木威久,5、川原紀夫,5、鹿嶋真弘,5、近藤昌平,5、里忠,5、桜井謙介,5、柴田幸子,5、須崎茂男,5、高村功,5、山次(高橋)良子,5、塘忠夫,5、水谷(中川)由紀子,5、鶴田寛,5、中野壽雄,5、中村晃忠,5、福岡(中森)良子,5、佐々木(長谷川)洋子,5、福村繁一,5、竹本(松山)智郁子,5、円子徹,5、三上総一,5、宮前卓之,5、向山侑,5、坂田(室塚)久美子,5、山田正幸,5、四ツ柳(山田)鶴,5、四ツ柳智久,5、吉沢逸雄,5

<創作>

福沢敬一伝－桜井謙介,5

詩“寸景”－志摩次郎

窓－岩淵功,6

<随想>

けがにに寄せて－成田守康(成田九州男)

立読み雑感－池田一芳

近頃考えていること－原田節夫,6

能登内浦の旅－福村繁一,5

カットの感想－永沢(坪野)浩子,6

日付のない日記－亀田(伊在井)康子,4、

巴の舞い－実吉峯郎,6

無題－坂田(室塚)久美子,5

雪の融け始める頃－小賀野厚三,6

泡沫の記－桶直義,5

<同窓生だより> 工藤徹,4、細田順一,1、石川(佐藤)雅子,4、石川文義,2、小田稔,4

<報告欄> 薬学科学生自治会、医学部連合自治会、十円会

編集部から

表紙のことば－石毛和之,6

編集委員・石毛和之、岩淵功、漆崎文男、大西星恵、落合美和子、神岡桂子、堺康子、菅原美知子、高橋良子、武田寿子、辻トシ子、坪野浩子、長野嘉信、浜田辰夫、水谷太一、安田正、山崎則子、大畑勲雄(編集責任者)

<第13号(1962・10)>

巻頭言

<特集1・現代社会に於ける我々の立場－その分析と位置づけ－>

総説・編集部

各論、大学教育に於いて我々は何を学ぶべきか－鬼山律子,7

我々は大学で何を学ぶべきか－薬学科学生

薬学科に於けるアンケート、川上正子(医2)、衣川義隆(医3)

我々は戦争と平和の問題をどう考えて行くべきか－永井右近

他大学からの意見－1,京都大学、2,千葉大学、3,静岡薬科大学、4,富山大学、5,徳島大学

思うこと－古谷(平野)美枝子,6

結論

<特集2・北大薬学から見た現代化学の最前線>

プロテイン、ペプチドについて－**金岡祐一**  
分子生物学の登場－**野村哲士**  
ステロイド類最近の話題－**野村太郎・柴田和則**,4

機器分析の進歩とその背景－**河田明治**  
ビタミン B 群の研究分野での最近の進歩－  
**森洋樹**,4

#### <創作>

赤い砂・青い麥－**桜井謙介**,5  
アメリカの実情－**金子光**

蒼い記憶－**実吉峯郎**,6

<同窓生便り> **丸子徹**,5、**伊藤俊彦**,5、**中村晃忠**,5、**山田正幸**,5

<報告欄>十円会、ハイキング・クラブ(仮称)、薬学科学学生自治会、医学部連合自治会

#### 編集後記

編集委員・大和田栄治、河井保人、河村忠男、小崎武志、阪田正勝、実吉峯郎、宍戸輝子、平野美枝子、本間紘、漆崎文男、砂田裕、高野朋子、武田寿子、中島稔夫、藤本和己、真木孝常、横井国男、**藤森観之助**(編集責任者)

#### <第 14 号 (1963・3)>

巻頭言

第六期生を送る－**赤木満洲雄**

卒業にあたって－**石毛和之**,6

第六期生の皆様へ－**川尻(中村)美喜枝**,7

#### <特集・現代社会と人間生活>

1:現代の世界世相に対する我々の立場

技術革新について－**伴義雄**

薬学将来計画と我々－**米光宰**

現代世相への一考察－**小島武**,7

世界情勢に対する我々の立場－**大望無行**

大学管理制度問題を通して見た世相－**熊岡熙**

2:自分の生活とまわりの社会

「対人関係」というテーマを与えられて－

**岩本多喜男**

自分の生活とまわりの社会・責務－**柴田幸子**,5、

此の頃の私の生活－**古谷(高野)朋子**,7

社会と自分－**谷口(秋山)正子**,8

友だちつきあい－**桜井(西沢)幸子**,7

誤薬致死事件と私の考え－**小尾陞**

3:私の人生

人類の進歩に貢献する道－**池原森男**

その時に－**宗山敬**,7

座談会－**赤木満洲雄**、**水野義久**、**三橋博**、**金岡祐一**、**井上胤国**,7

私の人生観－**西川士郎**,7

薬剤師としての人生－**美口智明**,1

#### <薬学へよせて>

物理学と化学のあいだ－**宮原将平**(理学部物理学教授)

薬剤士は器用である－**佐々木西二**(農学部農芸化学教授)

<文芸>

王様の耳－亀田(伊在井)康子,4  
仏教経典－上杉晴一,8  
海外便り－木村道也

ある手紙から－作者不明  
詩二篇－小田代政美、川尻(中村)美喜枝,7

<あ・ら・か・る・と(四年生)>

岩淵巧,6、遠藤俊一,6、大和田栄治,6、岡田晋,6、小賀野厚三,6、奥田和之,6、森(落合)美和子,6、  
河井保人,6、河村忠男,6、江端(堺)康子,6、実吉峯郎,6、末永(菅原)美知子,6、山本(辻)トシ子,6、  
永沢達一郎,6、乃生勲,6、古谷(平野)美枝子,6、藤森観之助,6、三ツ矢正安,6、37番の男、山崎  
朋子,6、児玉喜博,6、石毛和之,6、大畑勲雄,6、永沢(坪野)浩子,6、安田正,6、上野宏治,6、長野  
嘉信,6、大和田(宍戸)輝子,6、寺尾洋一,6、小松(神岡)桂子,6、棚山薫晴,6、植松(大西)星恵,6、  
小島武志,6

<報告欄>薬学科自治会、若い薬学者の会入会のすすめ-永井右近、学校祭経過報告、ハイキング  
クラブ報告

表紙のことば－藤野明治,8

編集後記

編集委員・荒木和彦、小口猛男、鬼山律子、中野巧二、中村美喜枝、服部保次、橋脇斉、本田栄  
三、宗山敬、渡部博之、上原南男、重茂潔、津田洋二、森山等、吉川露子、井上胤国(編集責任  
者)

<第15号(1963・10)>

巻頭言

<特集・卒業生の現在の社会における“生活と思想”>序、アンケートの結果、むすび—編集部、  
職業選択についての助言—水野義久

<学芸>

インドールアルカロイド—伴義雄  
ATP-アナログの合成とその筋収縮に於ける機能—池原森男  
<海外だより>木村道也、大塚栄子、清水譲

薬物代謝研究の意義—桶谷米四郎  
ガスクロマトグラフィーに期待して—  
藤間貞彦

<寄稿>

雑感—後藤辰男(北大文学部助教授)

薬品取扱いと業務過失致死罪—内田文昭

<論評>

香11-14号を顧みて—小田代政美(医3)

齊驢斗人閑話—小林凡郎

<訪問記>赤木先生、三橋先生、水野先生、林先生

<創作・文芸>

ホモ・サピエンス・アナローグー実吉峯郎

思い出すままにー上原南男,8

子供の教育と母親ということー

森谷(重茂)潔,8

ミーハー音楽談義ー大沢敏一郎,8

法華経ー上杉晴一,8

詩三篇ーM・O(藤野(尾野)美智),8

<報告欄>薬学科執行委員会、ハイキングクラブ、歌う会、若い薬学会、クラム学習会、サマーキャンプ

表紙のことばー藤野明治

編集余話・編集後記

編集委員・井上胤国、金井貞、民和敏、村岸基量、望月秋雄、秋山正子、石黒駿、大阪時子、大塚晏央、尾野美智、須藤節子、針田和明、藤野明治、牧竜子、吉川露子、上原南男(編集責任者)(顧問・水野義久)

## <第16号(1964・3)>

巻頭言

卒業生に贈るー赤木満洲雄、林平三郎、水野義久、伴義雄、木村道也、三橋博、小林凡郎、上原南男,8

<特集・第七期の皆様へ・われわれ薬学生の生活と思想>

特集企画にあたって、私達はどんな生活をしているか、座談会よりの集録と若干の補足、アンケートの集約より具体的な意見の例

討論の広場・薬学生の関心ー秋山宏敏,9、添田勝吉,8、坂本嵩,8、田中(黒田)紀子,7、横井国男,7、森谷(重茂)潔,8

<あ・ら・か・る・と(四年生)>

小口猛男,7、関口(武田)寿子,7、川尻(中村)美喜枝,7、西川士郎,7、中島稔夫,7、中山勝雄,7、橋脇齊,7、井上胤国,7、鬼山律子,7、中野功二,7、二階堂宏夫,7、桜井(西沢)幸子,7、増田満,7、金井貞,7、田中(黒田)紀子,7、山上(田川)晴子,7、藤本和巳,7、本田栄三,7、宗山敬,7、横井国男,7、小島武,7、種村邦子,7、服部保次,7、針谷(吉沢)郁子,7、平位和博,7、真木考常,7、森崎(山本)百合子,7、荒木和彦,7、漆崎文男,7、砂田裕,7、古谷(高野)朋子,7、望月秋雄,7、渡部博之,7、横沢(入江)喜美子,7、佐藤英助,7、野呂忠一,7、浜田辰夫,7、水谷太一,7、宮下幸一,7、村岸基量,7

<学芸>

インスタント核酸学入門ー野村哲士

ブレーミントン便りー大石武

NIHよりー羽賀正信

ミネソタ便りー岩本多喜男

<文芸>

スキーと自然ー川上正宏,8

「音楽」と「ボク」ー吉田雄三,8

僕の人生感ー寺門孝,8

ヘンな薬学生の手紙ー上原南男,8

恵庭事件被告野崎さんの講演をきいてー

根岸嗣治,9

虚無ー田波忠昭,9

友を語るー松永良徳,8

断片－寿野正広,9

私の山旅・旅－藤野明治,8

夜汽車－坂下凱,8

詩・ぶどう－長姫慎一

<座談会・研修旅行について>水野義久、荒木和彦,7、金井貞,7、鬼山律子,7、田中(黒田)紀子,7、山上(田川)晴子,7、民和敏,7、中野巧二,7、真木孝常,7、望月秋雄,7、渡部博之,7、谷口(秋山)正子,8

<こんにちは！先生！>木村先生、伴先生

<報告欄>薬学科学生自治会、歌う会、十円会、昼食会、ハイキングクラブ、大学祭、学友会、同窓会、若い薬学者の会

編集寸描・編集後記

編集委員・上杉晴一、重茂潔、金子正勝、津田洋二、寺門孝、原田文夫、林紘司、藤野明治、吉田博紀、吉田雄三、奥田千里、影浦邦夫、僧都勲、中村亨、三田泰弘、南館敦子、大沢歎一郎(編集責任者)(顧問・水野義久)

## <第17号(1964・10)>

巻頭言

<特集・薬学科より薬学部への展望>

何故学部になる必要があるのか、今までの経過と他大学の状況、新しいカリキュラム、建物の問題について

座談会・薬学部設置への展望－赤木満洲雄、三橋博、水野義久、金岡祐一、原田節夫,6、仁科甫啓,4、多田宏,4、伊藤恵夫,5、四柳智久,5、藤野(尾野)美智,8、寿野正広,9、根岸嗣治,9  
新設学部に望む:薬化学－池田一芳、薬品製造学－中川昌子,1、生薬学、薬品分析学－仁科甫啓,4、薬効学－宮脇裕幸,2、薬剤学－大和田栄治,6、衛生化学－大畑勲雄,6

<文芸>

国立癌センターについて－実吉峯郎

朝－坂下凱,8

或る男－来海正輝,9

お寺めぐり－浄瑠璃寺－藤野(尾野)美智,8

風鈴－小池宏二,9

雲－金子(奥田)千里,9

雑感－仙藤宥二,9

山影－上野宏治,6

喧騒の中の微笑－僧都勲,9

第十回原水禁大会に参加して－川添政彦,9

<創作>株式会社日本科学繁昌記－桜井謙介,5

七月二十日から二十三日までのこと－

森谷(重茂)潔,8

生きること－四年

ゆがんだ顔と張さん－佐藤英助,7

教養時代当時－横井国男,7

スズメのひとりごと－松木勝彦,院

喫茶店で－寿野正広,9

秋雨の禍－上野宏治,6

冬の蔵王－榎孝雄,院

<先生訪問記>手島先生、池原先生

<海外便り>清水讓,1

<同窓生より>中澤信彦,2、山次(高橋)良子,5、平位和博,7、江端(塚)康子,6

<報告>薬学科学生自治会、高王会、大学祭

編集余話・編集後記

編集委員・秋山宏敏、石黒浩二、奥田千里、影浦邦夫、川添政彦、岸尾芳子、来海正輝、沢田春美、僧都勲、西野宏子、根岸嗣治、三野洋子、水田泰之、村尾捷利、森本雍憲、**寿野正広**(編集責任者)(顧問・水野義久)

## <第18号(1965・3)>

巻頭言

<卒業生に贈ることば>赤木満洲雄、水野義久、関口慶二、伴義雄、三橋博、岩本多喜雄、木村道也

<特集・卒業生にみる職場>私達はそれをいかに生かすべきかー編集部

<あ・ら・か・る・と(四年生)>

金子正勝,8、フツ化水素(原田文夫),8、田沢(須藤)節子,8、大塚晏央,8、小嶋(吉川)蒨子,8、上杉晴一,8、中森(大阪)時子,8、藤野(尾野)美智,8、坂本嵩,8、針田和明,8、藤野明治,8、大澤(牧)竜子,8、上原南男,8、松永良徳,8、林紘司,8、小林優,8、津田洋二,8、林公明,8、寺門孝,8、田村(秦)昭子,8、小林(畝山)恵子,8、大沼毅,8、T. TANAMI(田波忠昭),8、坂下凱,8、川上正宏,8、森山等,8、**S・**吉田博紀,8、高橋輝雄,8、谷口(秋山)正子,8、吉田雄三,8、藤田武宏,8、森谷(重茂)潔,8、石橋(渡辺)昭子,8、稲垣隆夫,8、大澤歆一郎,8、添田勝吉,8

<文芸>

我々学生と学問研究ー嵯峨井勝,10

赤木昌夫,院

中国核実験雑感ー根岸嗣治,9

「五人の娘」を觀てー町田(伊藤)幹子,10

平和の会発足に当たってー永井右近

詩三題ー桜井謙介,5

独創性を發揮するには如何にすべきかー

<特別寄稿>

医薬品業界の現状分析:特に流通機構上の問題点についてー田辺忠行,2

癌の「化学療法」の現状ー実吉峯郎

<先生訪問記>岩本先生、金岡先生、金子先生

<創作>ある群像ー上野宏治,6

<海外だより>野村哲士

<同窓生だより>津田哲司,2、相沢勝彦,3、塘忠夫,5、佐々木希吉,4、白石由美子,3

<報告欄>薬学科学生自治会、高王会、歌う会、読書会



編集余話・編集後記

編集委員・岩崎矩子、石川黎明、石田征治、影浦邦夫、白石裕子、福井寿一、牧口裕貴子、前田邦泰、南館敦子、吉留久枝、八野浩、川村克征、小室玲子、土橋桂子、松本泰和、菊地正信(編集責任者)(顧問・水野義久)

## <第 19 号 (1965・10)>

巻頭言

<薬学部昇格にあたって>

薬学科発足一三題ばなしー赤木満洲雄

薬学時代の思い出ー塘忠夫,5

薬学科一年生の頃ー村上俊孝,1

<特集・医薬分業について>

特集を取り上げるにあたって

医薬分業の歴史と利点

売薬について

日本に於ける医薬分業の歴史と現状

諸外国に於ける医薬分業

分業移行の問題点

<教室紹介>衛生化学-吉田雄三,8、薬剤学-森本雍憲,9、生薬学-小林優,8、薬化学、薬品製造学-大石武、薬効学、薬品分析学-藤野明治,8

<文芸>

夏の思い出ー来海正輝,9

谷沢和隆,6

「太田事件」と「大学の自治」ー小尾陸

思いつくままにー町田(伊藤)幹子,10

第 11 回原水禁世界大会に出席してー

<学芸>漢方、漢薬についてー三橋博

<創作>不帰郷ー奥山修策,10

<海外だより>寺島正直、米光宰

<同窓生だより>平位和博,7、森谷(重茂)潔,8、北大病院薬剤部より

<報告欄>大学祭、警官導入事件での感想(自治会)、レコード鑑賞会、平和の会、歌う会、高王会

編集余話・編集後記

編集委員・入江由美子、川村克征、木下仁、小室玲子、斉藤恭子、嵯峨井勝、土橋桂子、飛谷祐子、中田忠、野崎正春、松本泰和、姥沢賢(編集責任者)(顧問・水野義久)

## <第 20 号 (1966・3)>

巻頭言

<特集・薬学における諸問題の解明と検討－編集部>

総論

薬学の将来・薬学研究・薬学教育・医薬資源の開発について

薬学の哲学・薬剤の安全性と諸問題・薬に対する薬学者の責任・科学者の責任

薬学生の哲学・薬学生とその環境・講義と実習・縦と横のつながり・自治意識

我々を取りまく諸問題・激化する制度品競争・医薬分業と薬剤師・プロパーについて・大学院問題・女子学生問題

<薬学裏面史>

裏から見た薬学の十年－創設期の思い出

五期生の頃

南から北へ

十年來の不作

四期生の頃

<第九期生を送る>赤木満洲雄

<あ・ら・か・る・と(四年生)>

牧口裕貴子,9、中村亨,9、根岸嗣治,9、前田邦泰,9、遠藤祐治,9、太田和男,9、入野浩,9、森本雍憲,9、三田泰弘,9、M・S(佐藤正之),9、石田征治,9、龍口(三野)洋子,9、齊藤裕男,9、林(南館)敦子,9、石黒浩二,9、小池宏二,9、笠原(吉留)久枝,9、僧都勲,9、佐藤重徳,9、佐藤好正,9、沢田春美,9、水田泰之,9、来海正輝,9、北川広,9、秋山宏敏,9、山内(白石)裕子,9、川添政彦,9、仙藤宥二,9、岩崎矩子,9、石川黎明,9、菊地正信,9、影浦邦夫,9、大塚(西野)宏子,9、寿野正広,9、福井寿一,9、村尾捷利,9、金子(奥田)千里,9、鷲見孝彦,9

<学芸>アロステリック効果のはなし－生化学最近の同行と薬学の立場－宇井理生

<文芸>

台湾旅行記(台湾の薬学)－小田代征治,10

何か知らんが－高橋克幸,10

『勝也の悩み』－嵯峨井勝,9

<先生訪問記>有田先生、宇井先生、大石先生、藤間先生

<報告欄>自治会、レコード鑑賞会、高王会、薬学平和の会、同窓会より

編集余話・表紙のことば

編集委員・浅沼トモ子、伊藤幹子、木下仁、齊藤恭子、嵯峨井勝、坂本亜州紀、辻允子、殿井靖敏、奈良讓、成田朋子、小野寺善明、佐藤征二、立花斉子、辻敦子、向田孝子、山本英雄、奥山修策(編集責任者)(顧問・水野義久)

<第21号(1966・10)>

巻頭言

北大薬学部の将来計画について－伴義雄

<特集・教養から薬学へ>

教養の問題(アンケート調査と結果)

大学と教養－赤木満洲雄

薬学の問題  
大学の自治について－上田亨

大学の自治と寮の自治－町田(伊藤)幹子,10  
自治会の在り方－長井省三,11

<学芸>有機化学に発し有機化学を超えるもの－水野義久

<職場紹介>

職場としての国立研究機関:国立ガンセンター研究所－実吉峯郎,6  
鑑識の化学について－岡本賢二,3

<文芸>パタゴニア:イスラ・ナバリーノ－吉田尚利

<創作>不帰郷(19号の続き)－奥山修策,10

<随想・詩>

ある級友の言葉より考えること－

BC兵器について－遠藤徹,11

四宮(横井)和子,10

紅葉－姥沢賢,10

知床半島－渋谷進,11

黄昏(詩)－M・Y(宮崎(吉村)光代),11

雨によせて－郷司(伊藤)由紀子,11

<教室紹介>薬品有機化学、薬品合成化学、衛生化学、薬化学、薬効学、生薬学、薬剤学、薬品製造学、薬品分析化学

<報告欄>薬学平和の会、高王会、大学祭、自治会

<同窓生だより>山田正幸,5、岡本せつ子,1

編集余話・編集後記

編集委員・今井悠子、有働鴻子、遠藤徹、小野寺善明、佐藤征二、田口耀子、長井省三、中村しず子、中山仁、中村崇治郎、宮崎勝巳、村田邦久、山本英雄、山田昭治(編集責任者)(顧問・水野義久)

<第22号(1967・3)>

巻頭言

<第十期生を送ることば>赤木満洲雄、有田隆一、池原森男、岩本多喜男、金岡祐一、木村道也、伴義雄、水野義久、三橋博

<特集・薬学を考える(学問的見地から)>

論を進めるに当たって

薬学に於ける生化学的研究

薬学の領域・有機化学の現状と将来

ある薬学生の告白

望まれる物理化学の導入

有機化学における物理的方法

生物化学の展望

ウッドワード教室のゼミナール拝見

<知ってるかい>

<あ・ら・か・る・と(四年生)>

吉田(入江)由美子,10、少林正彦,10、吉田(斉藤)恭子,10、長南光治,10、山中基資,10、殿井靖敏,10、大沢喜久江,10、山崎(浅沼)トモ子,10、小沢繁弘,14、速水(成田)朋子,10、野崎正春,10、四宮(横井)和子,10、藤井(小室)玲子,10、松本(飛谷)祐子,10、長南(中村)雅子,10、松本泰和,10、坂本亜州紀,10、高橋克幸,10、福島紘司,10、嵯峨井勝,10、寺島建樹,10、姥沢賢,10、奥山修策,10、奥山(杉山)正子,10、清水(佐々木)瓊子,10、桑原理,10、小川洋一,10、木下仁,10、清水条資,10、傳浩一,10、中田忠,10、土橋桂子,10、座間(川村)克征,10、松島(高野)光子,10、奈良讓,10、町田(伊藤)幹子,10、江頭又助,10、奥野洋明,10、小田代征治,10、曾田(辻)允子,10

<学芸> Pharmacogenetics の研究 - 岩本多喜男

<文芸>

生きるということ - 高原謙治,12

レコード談義 - 渡辺隆史,11

あなたにとって幸福とは何ですか -

S・F 落葉 - 青柳健

寺澤道夫,12

<寄稿> 講義で感ずること - 喜多英明(理論化学担当)

<先生訪問記> 大塚先生、永井先生、米光先生

<報告欄> 自治会、薬学部寮問題実行委員会

編集余話・編集後記・表紙(ふるた・ぬきひこ)

編集委員・川上さな子、川村みどり、佐藤邦彦、佐藤征二、渋谷進、白川勲、中村しず子、川崎克彦、渡辺隆史、相浦真人、穴田久雄、関川彬、滝田晴美、長谷川典巳、古田康彦、師井圀興、富本浩嗣(編集責任者)(顧問・水野義久)

<第 23 号 (1967・10)>

起承転結

人参からつれづれなるままに - 田中(渡辺)美香子,12

町田(伊藤)幹子,10

マンネリからの脱却 - 長南光治,10

“しあわせ”という言葉 - 北村秀司

いらだつ・画一化という現象 - T・O

二本のポプラ - 堺良介

生の肯定ということ - 松本洋治,12

いらだち・いらだたないいらだち -

己れをふりかえる - 宮崎勝巳,11

人と研究・真理を愛し真理を明らかにする - 石本先生の横顔、硫酸の還元と生命の起源 - 私のたどった研究の道 - 石本真

温和な中にもシンのある科学者 - 石井先生の横顔、私の研究歴 - 石井信一

<視点> ある抵抗 - LSD の青春 - け、原水禁運動の原点を求めて - 師井圀興

<教室寸描> 薬化学 - D、薬品分析化学 - T、生薬学 - S、薬品製造学 - U、衛生化学 - Y、薬剤学 - O、薬効学 - H、薬品合成化学 - O・M、薬品有機化学 - U、微生物薬品化学 - T、薬品生物化学 - Y

<詩>くずかご・茶色の緑の葉－しゅう、幼い日－K・F、タイトルなし－みか子、ためいき(も)、山

<創作>死せる都－上野宏治,6、ダンスパーティー－来海正輝,9

<学芸>遺伝情報と発ガンの機構について－嵯峨井勝,10

<随想>学生実習雑感－上田亨、ニューヨーク州立癌研究所・Roswell Park Memorial Institute に留学して－河田明治

<情報>ある研究団体の現状とその将来－実吉峯郎,6、薬学部記念会館建設について－金島弘恭,1、第13回原水爆禁止世界大会報告－三浦一伸、平和の会、同窓会

編集日誌抄・編集余話・編集後記

編集委員・川西哲治、小林伸一郎、斉藤安代、高原謙治、久我猛、佐藤元子、島本則子、會田孝志、渡辺美香子、菅田英信(編集責任者)(顧問・水野義久)

## <第24号(1968・3)>

巻頭言

惜別の辞(有用人と無用人)－赤木満洲雄、赤木先生を訪ねて－編集部

北大薬学十二年間の思い出－池原森男

<特集1・現代の大学生-その青春を考える>

座談会(関興一,12、新田功,12、野口修二,13、山本明生,12、小沼(金子)静子,13、及川(菅野)和子,13、山本(竹下)和子,13、永井(吉田)和子,13、二口欣也,13、森(落合)美和子,6、松本洋治,12)、大学とは?、友情はやはり最高のもの、大学の存在意義、社会人としての大学生、感想

<文芸>

恋に恋する頃－K・O

暗い夢(詩)－岩崎孝博,12

草は(詩)－しゅう

暗色－M・Y

青春断片－K・A

三四郎の青春－関興一,12

或る日－A子

私の趣味－S・N

ある女性への手紙－KS & IN

人間と友情－A・M

明日の創造のために－伴義雄

越中富山の万金丹(第1回)－童話「紙風船」

－中山忠弘,13

詩－中原文也

おはなはんの勇気－松本洋治,12

題のないハナシ－K・M

学生と学問－清水譲,1

エリート意識－K・S

断章－中村正雄

しんかいぎょ(詩)－しゅう

カイダン－作者不明

コント2題－作者不明

イマアジユドコロール(詩)－しゅう

陸っ子ネッシー－桜井謙介,5

ある剣使い－模平一平

終局(詩)－M・S

<特集2・薬学と社会の関係—経済から見た薬学—編集部>

昭和三十九年迄の動向	製薬会社と資本自由化
化学工業全体に占める位置	資本導入の実態
製薬会社の景気を動かすもの	これからの中小企業
日本の中小企業の問題点	国際競争と研究開発
資本自由化の波	輸出

<先生訪問記>堀先生、木村先生、畔上先生

<あ・ら・か・る・と(四年生)>

湊川文字,11、渡辺隆史,11、佐藤征二,11、山崎克彦,11、松本(柿崎)弘子,11、郷司(伊藤)由紀子,11、谷川(向田)孝子,11、山崎(広瀬)禎子,11、村田(松本)康代,11、中山仁,11、板東(東)ミツエ,11、牧野(川合)育子,11、白川勲,11、渋谷進,11、大西(立花)斉子,11、笹垣(田口)耀子,11、村田邦久,11、中山每木,11、中木村宏,11、中山(今井)悠子,11、上出(有働)鴻子,11、石川(辻)敦子,11、杉原太助,11、中村(川村)みどり,11、三島(川上)さな子,11、佐藤邦彦,11、宮崎(中村)光代,11、富本浩嗣,11、中村崇治郎,11、山田昭治,11、小野寺善明,11、高橋(中村)しず子,11、宮崎勝巳,11、前多(三沢)絢子,11、長井省三,11、T・E(遠藤徹),11、中村(中尾)敦子,11、山本英雄,11

憩—作者不明、編集余話・編集後記

編集委員・新田功、野口修二、山本明生、金子静子、菅野和子、高橋安子、竹下和子、吉田和子、林昭夫、二口欣也、関興一(編集責任者)

<第25号(1969・5)>

巻頭言

<特集・青春とは?>求婚、足跡、対面、旅、惰性

<講座紹介>薬品有機化学、植物薬品化学

<投稿>遍歴—岩本多喜男

<文芸>

鈴—T・S

朝焼に(詩)—作者不明

北帰考—山の金太

詩人(詩)—模平二平

動機のイメージ(詩)—土田義之

あの頃の私—梅村孝子,14

雪女—八千代

スズカの星—円陣太郎

札幌には美人が少ないということについて—

M・H

東大紛争—東大闘争の心情的コメント—

河合信和,14、田中操

<先生訪問記>浜口先生、小山先生、野村先生

<ア・ラ・カ・ル・ト(四年生)>

井本裕康,12、井上英夫,12、勝木昌俊,12、P・Q(土田清美),12、武内志保子,12、伊藤和彦,12、相浦真人,12、菅田英信,12、高井葉子,12、高瀬春子,12、今井信男,12、長谷川典巳,12、中田裕

康,12、小田和子,12、小林伸一郎,12、松本洋治,12、上坂佳則,12、宮崎正三,12、三浦敏明,12、岡誠,12、渡辺信子,12、川畑済子,12、長内明子,12、細井薫,12、川西哲治,12、斉藤安代,12、佐々木孝之,12、万矢裕俊,12、渡辺信昭,12、田中博道,12、関興一,12、中野憲明,12、米田利夫,12、林元吉,12、大森尚,12、田中(渡辺)美香子,12、奥田(伊賀)福子,12、安斎(大友)香枝子,12、K・H,12、斉藤祐一,12、加茂(藤井)淑子,12、福田(中村)紀子,12、門脇豊一,12、M・F,12、中山英司,12、寺沢道夫,12、Y・O(宮下(尾山)洋子),12

編集後記・終わりに

編集委員・高畠由美子、中山忠弘、塚本憲一、林昭夫、林昭満、堀田真、池田高夫、大桃せつ子、小口恵子、加藤修、吉川秀康、高橋英世(編集責任者)